

令和4年度第2回北杜市環境保全基金
活用検討委員会
(令和4年11月30日実施)

会 議 録

北杜市市民環境部環境課

- (1) 会議名
令和4年度第2回北杜市環境保全基金活用検討委員会
- (2) 開催日時
令和4年11月30日(水) 午後1時30分～午後3時15分
- (3) 開催場所
北杜市役所本庁舎 西会議室
- (4) 出席者
委員
協力者代表 平山隆之
北杜市地域委員連絡協議会 櫻井彰一
環境保全関係団体 篠原充
環境保全関係団体 跡部治賢
環境保全関係団体 (代理) 中村光良
環境保全関係団体 鳥屋尾健
北杜市副市長 小林明
北杜市企画部長 中田治仁
(8名出席、1名欠席 北杜市代表区長会 植松耕三)

事務局

市民環境部長 小泉雅人
環境課長 中山由郷
ゼロカーボン推進担当リーダー 谷畑祐介
ゼロカーボン推進担当 大多和健人
環境保全担当 中込拓真

- (5) 議題
1. 令和5年度北杜市環境保全事業(市実施事業分)について
2. その他
- (6) 公開・非公開の別 公開
- (7) 傍聴人の数 0名

以下、会議内容

1. 開会

2. 委員長あいさつ

お忙しいところお集まりいただきありがとうございます。厳しい社会情勢の中ご協力いただいている市民、企業の皆様ありがとうございます。本日は市

の事業にかかる審議になります。市民の皆様の声に応える事業になることを願っております。本日の審議には、皆様のご見識が活かされることを期待しております。

3. 委嘱状の交付

北杜市地域委員連絡協議会 会長 桜井彰一
北杜市代表区長会 会長 植松耕三(欠席)

4. 議事

(事務局) 本会議については、委員から公開反対の意見は無く公開となる。傍聴希望者はなし。参加8名につき会議は成立する。北杜市環境保全基金活用検討委員会設置要綱第6条の規定により、委員長が議長となることを説明する。副委員長の使命を議長にお願いする。

(議長) 副委員長は慣例により市民代表の桜井委員にお願いする。また、会議録署名委員を、跡部委員と鳥屋尾委員にお願いする。

(事務局) 事務局より、資料差し替え、審議順、審議方法について説明。

(議長) 議事1番「令和5年度基金活用事業(市実施事業分)について」事務局からの説明を求める。

(事務局) 資料3「令和5年度環境保全基金活用事業」により説明

(議長) 各事業について担当課から説明を求める。

(林政課) 里山整備事業補助金について資料により説明

(議長) 質疑を求める。

(委員) なし

(議長) 事務局に結果の確認を求める。

(事務局) 本件は承認された。次の事業の説明を求める。

(まちづくり推進課) 「地下水観測第3者評価事業」について資料により説明。

(議長) 質疑を求める。

(委員) データの集積があったと思うが、結果を市民に公開しているか。

(まちづくり推進課) 基金の実績報告として資料を作成し公表している。内容は水質の良い悪いではなく水量の収支としている。

(委員) 水質の良さという面で結果が活用できれば良いと考える。

(委員) 水量の収支の状況はどうか。

(まちづくり推進課) 近年については安定しており、専門家(山梨県立大学の教授)より問題ないと評価を受けている。

(委員) 地下水は降雨後に数十年後に出ると聞いているが、市ではどのように管理しているか。また井戸の増設は認められているか。

(まちづくり推進課) 市の地下水採取に関する条例において、井戸の上限数が決まっている。また、規制区域では井戸を掘ることができない。

(委員) これは審議とは直接関係ないが、ある飲料メーカーが安曇野市(長野県)に工場を建てたと聞いている。現在所在している企業で独占する形だと

採水量全国1位の維持は難しいのではないかと。規制するだけでなく、審査のうえ開放してはどうか。

(議長) 事務局に結果の確認を求める。

(事務局) 本件は承認された。次の事業の説明を求める。

(増富出張所) 「甲武信ユネスコエコパーク推進事業(増富出張所分)」について資料により説明。

(議長) 質疑を求める。

(委員) 資料P6-1 生物生息数、定点観測について、大平に生息する魚等についても対象としているか。

(増富出張所) 増富地区(東小尾)の増富温泉において、耕作後の田を借りて、子ども(4年生)と一緒にドジョウやツボ等の生息状況を調査している。今年は、作付けが違う隣の田において実施したが、同じエリアでも生物の構成が違うことが分かった。このように、体験型環境教育を兼ねた簡易的な調査となっている。

(委員) 子どもが関わることは大切である。内容についてはわかった。

(議長) 事務局に結果の確認を求める。

(事務局) 本件は承認された。次の事業の説明を求める。

(観光課) 「南アルプスユネスコエコパーク推進事業(観光課分)」について資料により説明。

(議長) 質疑を求める。

(委員) 数値目標についてR6までに理解度70%、興味・実践60%を目標としているが、市民アンケートの結果により評価するという点でよいか。

(観光課) 評価については質問のとおりで間違いはない。

(委員) そうであるならば、令和3年市民アンケート実績における興味が86.5%に対し、令和6年度目標が興味・実践60%である理由は何か。

(観光課) 令和6年度目標については、実践という視点が加えられているため。

(委員) 令和6年度目標の興味・実践60%は新たに設定した考えということでよいか。

(観光課) お見込みのとおり。

(委員) 森林整備等財産区活動支援事業における評価指標なしとのことだが、まちづくり活動支援事業については市民の参加が大切であり、参加者数などを評価指標に盛り込むべきではないか。PR・情報発信事業についてPR先は市民で間違いはないか。

(観光課) PR・情報発信事業は市民向けで間違いはない。市民への周知の強化を行い、段階的に県内、全国へ広げていきたい。また、数値目標無しの部分は、評価指標として次年度以降に検討したい。

(委員) 認知度が活動開始8年で57%とのことだが、ここから上げるのは難しい。4割が興味を持たない理由を把握してからのPRでないかと承服できない。

(観光課) 理由の確認等をしながら進める。

(委員) 意識醸成のため、財産区の経路からも広報を図ってはどうか。

(観光課) 現在、口頭での広報のみ実施。チラシ等を検討する。

(議長) 事務局に結果の確認を求める。

(事務局) 本件は承認された。付帯事項として、評価指標、PDCA サイクル、財産区への広報について意見があった。事業への反映をお願いする。次の事業の説明を求める。

(観光課) 「甲武信ユネスコエコパーク推進事業 (観光課分)」について資料により説明

(議長) 質疑を求める。

(委員) ユネスコエコパークの目的は、本来、まちづくりのコンセプトであると考え。甲武信と南アルプスで異なる青写真 (コンセプト) を考えているか。

(観光課) ユネスコエコパークを介して何を行うかということは、大きな違いはないと考えている。エリアを守り、継承していくかということも変わらない。

(委員) 同じスキームで一緒に取り組む方が無駄は無いのではないか。

(観光課) 地域連絡会が別々に存在しており、構成員も異なっている。甲武信地域連絡会は発足したばかりであり、南アルプス地域連絡会との情報交換会等を通じて学び、また、違いを理解しながら、進めていくことになる考える。

(委員) 地域住民が参加できない活動は、認知や理解が進まず限界を迎える。甲武信については、市民参加を促す形での活動をしていただきたい。また、数値目標や評価指標について戦略的にリネージュしていくべきではないか。

(観光課) 市民の方に参加していただける企画等を検討します。

(議長) 事務局に結果の確認を求める。

(事務局) 本件は承認された。付帯事項として、市民に開かれた事業の実施と、評価指標の作成について意見があった。事業への反映をお願いする。

(観光課) 「世界に誇る「水の山」北杜ブランド推進事業 (観光課分)」について資料により説明。

(議長) 質疑を求める。

(委員) 市民に「水の山」の内容が伝わっているかはっきりしない。長野県宮田村のアサギマダラの事業のように、市民の日常生活と「水の山」が繋がるような取り組みがあれば良い方向に進むのではないか。お願いしたい。

(観光課) 「水の山」が一体何なのか、情報発信していても受け手に届いてない可能性がある。保全活動や企業活動について発信できるようにしたい。

(議長) 事務局に結果の確認を求める。

(事務局) 本件は承認された。

(環境課) 「環境教育推進事業」について資料により説明。

(議長) 質疑を求める。

(委員) P9 事業実績について令和3年度実績が0であるのはなぜか。環境学習プログラム集の更新は必要なタイミングである。電子媒体をオープンにして広く活用できるようにしてほしい。

(環境課) 資料の誤り。訂正する。

(委員) 環境教育は本基金の目的の最たるもの。市の施策の中でのバランスもあると思うが、メリハリをつけて更なる強化をお願いしたい。

(環境課) 引き続き努力する。

(委員) 環境教育は子どもに向けたものだけではなく、社会教育や生涯教育の面も持ち合わせており、北杜市はしっかり取り組んでいる。

(委員) 子どもが環境活動に取り組むことについて、海外では表彰制度が盛んである。ご検討いただきたい。

(環境課) 検討する。

(議長) 事務局に結果の確認を求める。

(事務局) 本件は承認された。付帯として、環境学習プログラムのオープンソース化、環境教育の重要性を認識した事業の推進、環境活動に関する表彰等、事業に反映するようお願いする。

(事務局) 「今後の環境保全基金の活用方法について」資料により説明

(委員) 去年の市民団体の審査会のように、資料だけで委員が判断するのは難しい面もあり、進め方の改善をお願いしたい。

(事務局) 事前ヒアリングの実施等、進め方について検討したい。

(議長) 以前の方法では私も戸惑うような部分もありました。事前のヒアリング等を用いて、良いものを承認できるようにお願いしたい。

(議長) 以上を持って本日の議事を終了する。協力に感謝する。

4. 閉会

午後3時15分終了